



石川県津幡町 資料提供

令和8年9月1日

総務部総務課

担当 榊原

☎076-288-2120

令和8年度津幡町防災総合訓練について

1. 概要・目的など

地震、水害等による自然災害に際し、地域住民や関係機関が一致協力し、自助・共助・公助が互いに連携し一体となった訓練を行うことにより、「自分たちの地域は自分たちで守る」という認識をもち、「災害に強いまちづくり」の推進を目的とするとともに、防災体制の確立、防災意識の高揚を図ります。

2. 開催日時・日程

令和8年9月13日（日） 午前7時00分から8時40分まで

3. 場所

あがた公園、笠野小学校、津幡町福祉教育プラザほか

4. 参加者

津幡町、津幡町教育委員会、津幡町消防本部、河北中央病院、津幡町消防団、津幡町自主防災クラブ連絡協議会（津幡中央地区自主防災クラブ、中条地区自主防災クラブ、井上地区自主防災クラブ、笠井地区自主防災クラブ、笠野地区自主防災クラブ、英田地区自主防災クラブ、河合谷地区自主防災クラブ、刈安地区自主防災クラブ、萩坂地区自主防災クラブ）、河北郡市医師会、石川県警察津幡警察署、津幡土木事務所、石川中央保健福祉センター、津幡町赤十字奉仕団、津幡町社会福祉協議会、津幡町民生児童委員協議会、津幡町ボランティア連絡会、津幡町福祉会、NTT 西日本株式会社北陸支店、（一財）北陸電気保安協会、河北郡市土建協同組合、石川工業高等専門学校、生活協同組合コープいしかわ、（一社）石川県エルピーガス協会河北支部、津幡町リハビリテーション連絡会

5. その他（注意事項など）

本年度の訓練では、避難所開設・運営訓練において、新たに「避難所管理システム」を活用した訓練を行い、避難者の受付・管理のデジタル化を図ります。

令和8年度(第29回)

津幡町防災総合訓練実施要領

津 幡 町

令和8年度(第29回)津幡町防災総合訓練実施要領

1. 目 的

令和5年7月豪雨災害及び令和6年能登半島地震では、本町において甚大な被害が発生しました。また、石川県が27年ぶりに見直し令和7年5月に公表した地震の被害想定では、9つの断層帯で将来、大地震が発生する可能性がある内容となっており、本町においても大きな被害が想定されています。このような想定結果を踏まえ、地震等の自然災害に対する備えのさらなる強化充実が求められています。

津幡町防災総合訓練は、地震、水害等による自然災害に際し、発生初動時においては地域住民が一致協力して対応する訓練を行うことにより、「自分たちの地域は自分たちで守る」という認識のもと、「災害に強いまちづくり」を推進していくことを目的とします。

2. 日 時 令和8年9月13日（日） 午前7時00分～

3. 場 所 主会場：あがた公園
 その他：津幡町役場、笠野小学校、福祉教育プラザ

4. 主 催 津幡町

5. 参加機関

津幡町、津幡町教育委員会、津幡町消防本部、河北中央病院、津幡町消防団、津幡町自主防災クラブ連絡協議会（津幡中央地区自主防災クラブ、中条地区自主防災クラブ、井上地区自主防災クラブ、笠井地区自主防災クラブ、笠野地区自主防災クラブ、英田地区自主防災クラブ、河合谷地区自主防災クラブ、刈安地区自主防災クラブ、萩坂地区自主防災クラブ）、河北郡市医師会、石川県警察津幡警察署、津幡土木事務所、石川中央保健福祉センター、津幡町赤十字奉仕団、津幡町社会福祉協議会、津幡町民生児童委員協議会、津幡町ボランティア連絡会、津幡町福祉会、NTT 西日本株式会社北陸支店、（一財）北陸電気保安協会、河北郡市土建協同組合、石川工業高等専門学校、生活協同組合コープいしかわ、（一社）石川県エルピーガス協会河北支部、津幡町リハビリテーション連絡会

6. 訓練本部の構成

本 部 長	町 長
副本部長	副町長（英田地区現地災害対策本部長）、消防団長
本部長付	教育長
本 部 員	本部事務局長（総務部長）、総務対策部長（総務課長が代行）、町民生活対策部長（町民生活部長）、健康福祉対策部長（健康福祉部長）、産業建設対策部長（産業建設部長）、教育対策部長（教育部長）、消防対策部長（消防長）、河北中央病院事務長、会計管理者、消防副団長

7. 訓練想定

令和8年9月13日（日）午前6時40分、津幡町から金沢市を経て白山市に至る森本・富樫断層帯を震源とする地震が発生し、震源地に近い津幡町では震度7を観測した。この地震により倒壊家屋からの火災や林野火災、ガス・水道施設の破壊、道路・橋梁の損壊、能瀬川堤防の決壊の恐れ、交通・通信網の混乱等の被害が発生した。さらに、多数の死傷者が発生している模様である。

この地震により甚大な被害を受けた英田地区では、英田地区自主防災クラブ長が同日午前7時に津幡町役場に被害状況の報告を行い、応援要請等を行った。

津幡町長は、報告を受けると直ちに石川県に対して「災害救援出動」を要請するとともに役場内に「災害対策本部」を設置した。また、被害の甚大な英田地区（津幡町字加茂地内）に「現地災害対策本部」を設置し、副本部長の副町長を「現地災害対策本部長」として、現地へ派遣した。

その後、災害対策本部長の津幡町長は、被害状況等の把握のため、英田地区の巡視を行った。

また、この地震の影響により、能瀬地内能瀬川右岸堤防の天端が陥没し、決壊する恐れが高まった。

令和8年度津幡町防災総合訓練 訓練種目及び担当

訓練会場	訓練種目	部名	担当
役場	災害対策本部設置訓練（参集訓練）	全庁	災害対策本部員
	応援職員受入訓練	総務	総務課、監査委員事務局
あがた公園	通信訓練 (防災行政無線・災害応援協定締結町)	総務 教育 健福	災害対策本部、総務課（現地災害対策本部）、学校教育課、生涯教育課、子育て支援課、小中学校、公民館、保育施設、放課後児童クラブ、児童センター
	避難誘導訓練	総務	各地区自主防災クラブ、津幡警察署、災害対策本部、企画課
	被害状況調査・映像伝送訓練	消防	災害対策本部、消防本部
	給水訓練	産業 建設	上下水道課
	炊き出し訓練	産業 建設	町赤十字奉仕団、各地区自主防災クラブ、商工観光課
	緊急物資輸送・受入訓練	総務	監理課、各地区自主防災クラブ、生活協同組合コープいしかわ
	救護体験	消防	各地区自主防災クラブ、消防本部、女性消防団
	初期消火訓練(消火器・天ぷら油火災)	〃	各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	濃煙通過体験	〃	各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	水防訓練	産建 消防	都市建設課、消防本部、消防団、河北郡市土建協同組合、津幡土木事務所
	仮設トイレ設置訓練	町民 生活	生活環境課
	下水道災害復旧訓練	産業 建設	上下水道課
	土のう作成訓練	産建 消防	各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	火災防ぎょ訓練	消防	消防本部、消防団
	小型動力ポンプ放水訓練	〃	中条、井上、英田、刈安地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	救出・搬送訓練	〃	津幡中央、中条、井上、英田地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
	応急救護所開設訓練	健福 消防	河北郡市医師会、河北中央病院、健康推進課、消防本部、役場職員（模擬患者）
	災害用伝言ダイヤル体験		NTT西日本株式会社北陸支店
	災害時分電盤操作体験		一般財団法人北陸電気保安協会
	防災展示	産業 建設	都市建設課、総務課、石川工業高等専門学校、一般社団法人石川県エルピーガス協会河北支部
	起震車体験	消防	各地区自主防災クラブ、消防本部
笠野小学校	避難所開設・運営訓練	教育 町生 健福	笠野地区自主防災クラブ（模擬避難者）、リハビリテーション連絡会、教育総務課、学校教育課、生涯教育課、町民課、福祉課、子育て支援課
	避難所巡回・健康相談訓練 避難所保健活動訓練	健福	健康推進課、福祉課、石川中央保健福祉センター
全会場	災害記録訓練	総務	企画課
福祉教育 プラザ	災害ボランティア現地本部運営設置 受入訓練	健福	町社会福祉協議会、町赤十字奉仕団、町民生児童委員協議会、町ボランティア連絡会、福祉課
その他	建物被害調査・整理訓練	町生	税務課
	ため池緊急点検訓練	産業 建設	農林振興課
	巡視員対応（随行）	総務	議会事務局

訓練種目別時間進行表

訓練名	時間帯						実施機関
	7:00	7:30	8:00	8:30	9:00	9:30	
災害対策本部設置訓練 (参集訓練)	6:40 → 7:00						災害対策本部員
通信訓練(防災行政無線・ 災害応援協定締結町)	7:00 → 8:00						災害対策本部、総務課(現地災害対策本部)、学校教育課、生涯教育課、子育て支援課、小中学校、公民館、保育施設、放課後児童クラブ、児童センター
避難誘導訓練	7:00 → 7:20						各地区自主防災クラブ、津幡警察署、災害対策本部、企画課
被害状況調査・映像伝送訓練	7:00 → 7:50						災害対策本部・消防本部
避難所開設・運営訓練 避難所巡回・健康相談訓練 避難所保健活動訓練	7:00 → 8:00						笠野地区自主防災クラブ(模擬避難者)、リハビリテーション連絡会、教育総務課、学校教育課、生涯教育課、町民課、福祉課、子育て支援課、健康推進課、石川中央保健福祉センター
災害ボランティア現地本部 運営設置受入訓練	7:00 → 8:00						町社会福祉協議会、町赤十字奉仕団、町民生児童委員協議会、町ボランティア連絡会、福祉課
ため池緊急点検訓練	7:00 → 7:50						農林振興課
給水訓練	7:10 → 7:40						上下水道課
建物被害調査・整理訓練	7:10 → 7:40						税務課
応援職員受入訓練	7:10 → 7:40						総務課、監査委員事務局
炊き出し訓練	7:20 → 8:40						町赤十字奉仕団、各地区自主防災クラブ、商工観光課
緊急物資輸送・受入訓練	7:30 → 8:00						監理課、各地区自主防災クラブ、生活協同組合コープいしかわ
救護体験	7:40 → 8:20						各地区自主防災クラブ、消防本部、女性消防団
初期消火訓練	7:40 → 8:20						各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
濃煙通過体験	7:40 → 8:20						各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
水防訓練	7:40 → 7:55						都市建設課、消防本部、消防団、河北郡市土建協同組合、津幡土木事務所
仮設トイレ設置訓練	7:40 → 8:15						生活環境課
起震車体験	7:40 → 8:20						各地区自主防災クラブ、消防本部
下水道災害復旧訓練	7:50 → 8:40						上下水道課
土のう作成訓練	8:00 → 8:20						各地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
火災防ぎょ訓練	8:00 → 8:20						消防本部、消防団
小型動力ポンプ放水訓練	8:00 → 8:20						中条、井上、英田、刈安地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
救出・搬送訓練	8:10 → 8:30						津幡中央、中条、井上、英田地区自主防災クラブ、消防本部、消防団
応急救護所開設訓練	8:15 → 8:40						河北郡市医師会、河北中央病院、健康推進課、消防本部、役場職員(模擬患者)
災害用伝言ダイヤル体験 災害時分電盤操作体験 防災展示	7:30 → 8:40						都市建設課、総務課 NTT西日本株式会社北陸支店 一般財団法人北陸電気保安協会 石川工業高等専門学校 一般社団法人石川県エルピーガス協会河北支部
閉会式(訓練講評)				8:45 → 9:00			参加者全員

訓練種目別実施要領

時間	訓練種目	状 況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
6:40 ～ 7:00	災害対策本部 設置訓練 (参集訓練)	震度7の地震発生に伴い、町災害対策本部を設置する。	町は、震度7の強い揺れに伴い、相当の被害の発生が予測されることから、町災害対策本部を設置する。 職員の参集状況を把握するとともに、被害状況等の確認及び被害が甚大な英田地区の支援のため、あがた公園での現地災害対策本部の設置を指示する。	災害対策本部員		防災行政無線等
7:00 ～ 8:00	通信訓練(防災行政無線・災害応援協定締結町)	地震の発生に伴い、住民に対して落ち着いて行動するよう呼びかける。 災害発生に伴い、各学校等の児童生徒園児の安否や各施設の被災状況、地域住民の避難状況等の情報を収集し、防災関係機関への連絡・通報が必要である。 施設管理者は、児童生徒園児や職員の安全を確保するとともに、各施設の被災状況等を確認・報告する。	地震発生後、震度の情報を伝達するとともに、避難に関する指示を住民に呼びかける。(音声合成装置により事前に文面を準備) 学校教育班は、防災行政無線などあらゆる通信手段を利用し、町内小中学校の児童生徒及び職員等の安否確認や施設の被災状況の確認を行う。また、地域住民の学校への避難状況を確認し、関係機関へ報告する。 生涯教育班は、防災行政無線などあらゆる通信手段を利用し、町内の生涯教育施設(文化会館・公民館・体育施設等)の利用者や職員等の安否確認や施設の被災状況の確認を行う。 子育て支援班は、防災行政無線(携帯機)などあらゆる通信手段を利用し、町内保育施設や児童厚生施設等の安否確認、被災情報等を収集する。 災害対策本部は、被害状況を踏まえ近隣市町からの支援が難しいため、災害時相互応援協定を締結している中能登町、福岡県岡垣町、和歌山県上富田町に物資の提供を依頼する。	災害対策本部 総務課(現地災害対策本部) 学校教育課 町内小中学校 生涯教育課 公民館等 子育て支援課 保育施設 放課後児童クラブ 児童センター	2 4 1 1 3 9 7	防災行政無線 衛星携帯電話
7:00 ～ 7:20	避難誘導訓練	地震が収まると地域住民は、各集落内の所定の場所に集合し、人員確認後、避難場所であるあがた公園に避難を開始した。	地域住民は各地点にて待機。防災行政無線拡声放送の内容を受け、各地区自主防災クラブ長を中心に避難経路ごとに避難を開始する。避難誘導班員は、歩行による避難者に対し、安全な避難路を伝え、避難場所であるあがた公園に隊列を組んで避難するよう伝える。地区自主防災クラブ長は自主防災クラブ連絡協議会長に参集報告を行い、自主防災クラブ連絡協議会長は避難人数を取りまとめ現地災害対策本部長に報告する。 津幡警察署は、避難住民の安全を確保するため、主要交差点において交通規制を行うほか、避難により空き家となる家屋が多数みられるため、付近の防犯パトロールを実施する。	津幡自主防 井上自主防 中条自主防 英田自主防 笠井自主防 笠野自主防 河合谷自主防 刈安自主防 萩坂自主防 企画課 津幡警察署	5 0 5 0 5 0 5 0 1 5 1 5 1 5 1 5 1 5 7 2	避難誘導旗 ヘルメット 電子メガホン その他必要品

時間	訓練種目	状 況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
7:00 ～ 7:50	被害状況調査・映像伝送訓練	災害発生に伴い、崖の崩落により道路が寸断され、孤立している地区が発生した。	ドローンを使用し、現地災害対策本部等へ上空からの映像を配信する。	災害対策本部 消防本部	2 2	現地側 ドローン 1 式 PC 1 式 (Internet 環境) 発電機 1 台 現地対策本部側 PC 1 式 (Internet 環境) TV モニター 1 台 発電機 1 台
7:00 ～ 8:00	避難所開設・運営訓練 避難所巡回・健康相談訓練 避難所保健活動訓練	大規模地震により建物が多数倒壊し、生活の拠点を失った地域住民の避難が必要となった。	教育総務班・学校教育班・生涯教育班、町民班・福祉班・子育て支援班は、避難所である笠野小学校を避難施設として開設・運営、避難者の誘導、安全確保を行う。 町民班・子育て支援班は避難所管理システムを活用した避難者の受付と誘導を行う。 福祉班・教育総務班・学校教育班・生涯教育班は避難所内に段ボールベッド等の設営を行う。 福祉班は、避難所運営委員会を設置し、避難所のルールや注意事項を避難者に周知する。 健康推進班及び福祉班は、避難所の状況に応じてラピッドアセスメントシートの活用により必要な支援を検討するとともに、避難者の健康相談を実施し、健康管理を行う。 福祉避難所の協定締結事業者に対し避難者の受入要請を行う。 自主防災クラブ員は、模擬避難者として避難するとともに、避難所運営委員会の設置による避難所運営を行う。	教育総務課 学校教育課 生涯教育課 町民課 福祉課 子育て支援課 健康推進課 模擬避難者 (笠野自主防) リハビリテーション連絡会 石川中央保健福祉センター	5 2 3 8 16 3 7 15 3 4	筆記用具 1 式 避難者名簿等 1 式 防災行政無線 (半固定機又は携帯機) 段ボール間仕切り (1.8m×2m) 25 枚 段ボール間仕切り (1.5m×2m) 25 枚 段ボールベッド 1 台 ワンタッチパーテーション 12 張 受付用机 5 台 受付用椅子 8 脚 マスク 1 式 内履き(スリッパ) 1 式 消毒液 1 式 非接触型体温計 4 台 車いす 2 台 決裁板 健康相談票 血圧計 筆記用具 ラピッドアセスメントシート ポスター (感染症予防等) 机 2 台 イス 2 脚 対応記録表 健康相談報告記録表 会場 笠野小学校

時間	訓練種目	状 況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
7:00 ～ 8:00	災害ボランティア現地本部 運営設置受入 訓練	地震発生に伴い 甚大な被害を受け た津幡町の復興の ため、多くのボラ ンティアの協力が 必要となる。	津幡町は、町社会福祉協議会 に災害ボランティアセンター の設置を要請した。 町社会福祉協議会は、町民生 児童委員協議会、町ボランティ ア連絡会、町赤十字奉仕団の協 力のもと、災害ボランティアセ ンターを設置し運営する。	町社会福祉協議会 町民生児童委 員協議会 町ボランティ ア連絡会 町赤十字奉仕団 福祉課	1 5 8 5 5 3	長机 6 台 椅子 1 0 脚 初什ボート 3 台 筆記用具 1 式 会場：福祉教育 プラザ
7:00 ～ 7:50	ため池緊急点 検訓練	大規模な地震の 発生により決壊し た際に、人家に浸 水被害が想定され るため池について、 緊急に現地確認 を行う必要が生 じた。	決壊した際に人家に浸水被害 が想定されるため池につい て、ため池点検チェックシート に基づき、堤体や各施設の陥没 や亀裂等の変状箇所の有無を 現地確認する。 その結果を現地災害対策へ 報告し、災害情報・避難情報の 提供を行う。	農林振興課	8	携帯電話 ため池点検チェ ックシート カメラ
7:10 ～ 7:40	給水訓練	地震により英田 地区において配水 管破損による断水 被害が発生した。	被害発生により上下水道班 は、避難場所であるあがた公園 において臨時給水所を設置し、 避難した住民への臨時給水を行 う。	上下水道課	6	2tトラック 1 台 軽トラック 1 台 車載給水タンク 1 台 組立給水タンク 1 台 応急給水栓 1 基 看板 1 枚 机 1 脚 ポリタンク 15 個 給水袋 100 枚
7:10 ～ 7:40	建物被害調査・ 整理訓練	災害発生に伴 い、り災証明の発 行に必要な情報を 収集するため、町 内の民間建物の被 害調査が必要とな る。	公用車を使用し、2 班に別れ て町内に所在する建物の被害 状況を調査する。 調査後、調査結果を整理す る。	税務課	5	公用車 2 台
7:10 ～ 7:40	応援職員受入 訓練	災害発生時に、 外部からの応援職 員を迅速かつ的確 に受け入れる。	受援計画に基づき、応援職員 の執務スペースを確保する。	総務課 監査委員事務局	1 2	

時間	訓練種目	状 況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
7:20 ～ 8:40	炊き出し訓練	地震により建物等が損壊し、自炊能力が無くなり避難者の食料確保が必要となる。	町赤十字奉仕団、各地区自主防災クラブ及び商工観光班等は、災害対策本部から支給されたアルファ化米の炊き出しを実施する。	町赤十字奉仕団 各地区自主防 商工観光課	2 各1 6	テント 2張 炊飯ガスコンロ 2台 大鍋 2台 机 8脚 アルファ化米 300食 ひしゃく 2本 バケツ 2個 黒マジック 2本 ガムテープ 2個 コピー用紙 ナイロン袋 カッター チャッカマン 雑巾 ティッシュ 除菌セット
7:30 ～ 8:00	緊急物資輸送・受入訓練	地震発生に伴い、多くの住民が食料等の援助を求めている。	災害対策本部長の要請により、監理班に緊急物資調達を指示。（指示は防災行政無線を使用する。）監理班はあがた公園備蓄倉庫等から物資（カンパン・飲料水）を搬入する。各地区自主防災クラブ員は避難の人数分の緊急物資を受入れる。	監理課 各地区自主防 生活協同組合 ユープ いしかわ	6 各2 1	防災行政無線（車載機） 車両 2台 カンパン 11箱 飲料 14ケース テント 1張 机 1台 コンパネ 3枚 ブルーシート 1枚 ビニール袋 50枚
7:40 ～ 8:20	救護体験	各地区自主防災クラブ員は、救護体験として心肺蘇生法及びAEDの使用方法を体験学習する。	自主防災クラブ員を対象に応急手当についての講習・実技指導を実施する。 ・心肺蘇生法 ・AED	津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠井自主防 刈安自主防 萩坂自主防 河合谷自主防 女性消防団員 消防本部	2 2 2 2 1 1 1 1 1 3 1	訓練用半身人形 3体 AEDトレーナー 3基 電子メガホン 1基 ブルーシート 1枚 消毒用エタノール 2個 説明用パネル PPロープ 1張 （雨天時追加資機材） 机 3台
7:40 ～ 8:20	初期消火訓練 （消火器・天ぷら油火災）	（消火器） 地震により火災が発生した。 （天ぷら油火災） 地震発生によりガスコンロの天ぷら油から発火した。	（消火器） 水消火器を使用した標的への注水により、使用方法を習得する。 （天ぷら油火災） 天ぷら鍋内の油に点火し、濡れシートを用いて消火方法を習得する。	消防本部 津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠井自主防 刈安自主防 萩坂自主防 河合谷自主防 萩坂分団	3 11 10 10 10 3 1 3 3 3	初期消火 1式 ガスボンベ 2本 水消火器 50本 模擬消火装置 1～2 机 1脚 コンロ 1台 鍋 1個 バケツ 1個 シート 1枚
7:40 ～ 8:20	濃煙通過体験	地震により発生した建物火災で充満している煙の中から屋外へ避難する。	煙の充満したテントの中を通過し、煙の恐さを体験する。	津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠井自主防 刈安自主防 萩坂自主防 河合谷自主防 萩坂分団 消防本部	12 10 10 10 3 1 3 3 2 1	濃煙体験テント 1式 スモークマシン 1式 スモーク液 2本 ドラムコード 3個
7:40 ～ 7:55	水防訓練	地震の発生により能瀬地内能瀬川右岸堤防の天端が陥没し決壊する恐れが高まった。	出動命令を受けた消防団員は、現場到着後、水防本部長の命令により水防活動を開始する。応援要請を受けた町（都市建設課）も消防団と連携し作業（積土のう工法）にあたる。 ※消防団員は救命胴衣を装着し、安全管理を図る。	消防団本部（副団長） 倉見分団 笠谷分団 種分団 河合谷分団 消防本部 河北郡市土建協同組合 津幡土木事務所 都市建設課	1 5 5 5 5 2 5 1 11	ダンプ 1台 土のう袋 200枚 水防資機材 1式 土砂 3m ³ 鋼杭 80本 掛矢 5丁 スコップ 15丁 一輪車 5台

時間	訓練種目	状 況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
7:40 ～ 8:15	仮設トイレ設置訓練	下水道施設の破損により、避難所のトイレが使用できないため、仮設トイレを設置する。	生活環境班は避難場所となったあがた公園に簡易トイレの設置を行う。	生活環境課	5	簡易トイレ スツール型 4 基 マンホール型 1 基
7:40 ～ 8:20	起震車体験	森本・富樫断層帯を震源とする地震が発生した。	起震車にて地震の揺れを体験する。	消防本部 津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠井自主防 刈安自主防 萩坂自主防 河合谷自主防	2 1 2 1 0 1 0 1 0 2 1 2 2	起震車 メガホン
7:50 ～ 8:40	下水道災害復旧訓練	地震に英田地区において下水道管渠が破損した疑いがある。	污水管の被害状況を把握するため、自走式テレビカメラで管渠等の目視による点検を合わせて行う。	上下水道課	4	ライトバン 1 台 机 1 脚 椅子 1 脚 矢印板 2 個 カラーコーン 3 個 カラーバー 2 本 カメラ調査車 1 台 マンホールキー 2 本 案内用パネル 1 組 無線機 2 台
8:00 ～ 8:20	土のう作成訓練	地震の発生により能瀬地内能瀬川右岸堤防の天端が陥没し、決壊する恐れが高まった。	土のうの作成（適切な量の砂を補充、結び方）を体験	津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 笠井自主防 刈安自主防 萩坂自主防 河合谷自主防 倉見分団 笠谷分団 種分団 河合谷分団 消防本部	5 5 5 5 3 3 3 3 5 5 5 5 2	ダンプ 1 台 土のう袋 200 枚 水防資機材 1 式 土砂 3 m ³ 鋼杭 8 0 本 掛矢 5 丁 スコップ 1 5 丁 一輪車 5 台
8:00 ～ 8:20	火災防ぎょ訓練	地震により倒壊した家屋から火災が発生し延焼拡大している。 また、地震により消火栓が使用不能のため消防団に出動を要請。	消防団は、副団長の指示で防火水槽から吸水し、2 分団で中継送水し 2 線放水を実施する。 ※自主防災クラブとの同時放水（小型動力ポンプ放水訓練）	消防団本部 中条分団 井上分団 能瀬分団 消防本部	1 5 5 5 4	分団車両 3 台 消防ホース適宜 筒先 2 本 赤旗 1 本 車両停止表示（杭） 模擬ハウス 発煙筒 簡易水槽（5 t） ブルーシート（10m×10m）
8:00 ～ 8:20	小型動力ポンプ放水訓練	地震により建物火災が発生し、延焼拡大する恐れがある。	各地区自主防災クラブ長は小型ポンプによる消火を消火班長へ指示する。 消火班長は消火班員とともに小型ポンプを水槽横に設置し、吸水とともにホース 1 本を延長し放水、出火建物の消火にあたる。 （各クラブ担当内訳） 吸水、ポンプ操作 2 名 ホース延長、放水 2 名 伝令 1 名	中条自主防 井上自主防 英田自主防 刈安自主防 津幡分団 消防本部	5 5 5 5 5 3	自主防災クラブ 小型ポンプ 吸管 ホース 管そう 消防本部 模擬家屋 1 棟 発煙筒 2 本 水槽（大）1 基 メガホン

時間	訓練種目	状 況	実施要領	実施機関	人員	使用機材
8:10 ～ 8:30	救出・搬送訓練	地震により倒れた重量物に要救助者がいる。	地震で倒壊した重量物による挟まれを想定し、救出訓練を行う。	津幡自主防 中条自主防 井上自主防 英田自主防 俱利伽羅分団 消防本部	5 5 5 5 5 1	本部 ブルーシート 自作の棚 土のう 20個 廃角材 要救助者 (訓練人形2体) 救出・搬送資機材 メガホン ヘルメット 軍手
8:15 ～ 8:40	応急救護所開設訓練	地震により負傷者が発生し、避難場所へ搬送されてくる。	消防本部及び健康推進班は応急救護所を開設する。町は河北郡市医師会に、医師、看護師の派遣を要請する。派遣された医師・看護師(河北中央病院医師・看護師含む)は、模擬負傷者(負傷した状況やバイタルを記載したカード)のトリアージを行い、応急処置を行う。	消防本部 河北郡市医師会 河北中央病院 医師 看護師 事務員 健康推進課 負傷者	1 2 2 3 1 4 7	テント 2式 ブルーシート 1式 机 3台 トリアージシート 1式 ボード 1台 人形 1体 筆記用具 傷病者管理表 医療資機材数表
7:30 ～ 8:40	災害用伝言ダイヤル体験	地震の発生により、被災地への通信が増加したため、輻輳により安否確認がしにくい状況となった。	NTT 西日本北陸支店は、輻輳により通信が途絶えた被災地の安否情報等の確保のため、避難所となったあがた公園に衛星通信機器を導入し、被災地の通信を確保する。 (大規模災害時の家族の安否を確認する時に有効な手段として設定される災害用伝言ダイヤル「171」を体験することにより、災害時の安否確認の方法を学習する。)	NTT 西日本株式会社北陸支店	2	テント 1張 机 3脚 イス 6脚 ドラムコード
7:30 ～ 8:40	災害時分電盤操作体験		模擬分電盤による災害時の操作方法について体験する。 (震災時の通電火災防止) 過去の地震、水害についてのパネル展示、パンフレットの配布	一般財団法人 北陸電気保安協会	4	テント 1張 机 2脚 イス 4脚
7:30 ～ 8:40	防災展示		住宅の耐震化や危険ブロック塀に関し、展示及び相談会を行う。	都市建設課	3	テント 1張 机 1脚 イス 2脚 展示ボード2枚
7:30 ～ 8:40	防災展示		防災備蓄用品配布事業の啓発及び防災啓発番組の周知並びにトイレカーの展示を行う。	総務課 金沢ケーブル(株)	1 2	テント 1張 机 2脚 イス 4脚 トイレカー1台
7:30 ～ 8:40	防災展示		まちなかハザード標識の展示を行う。	石川工業高等専門学校	5	テント 1張 机 2脚 イス 5脚
7:30 ～ 8:40	防災展示		発電機等の防災用品の展示を行う。	一般社団法人 石川県エルピーガス協会河北支部	2	テント 1張 机 2脚 イス 4脚

津幡町防災総合訓練 閉会式 (配列)

現地災害対策本部デント

實 來

マイク

本部長・副本部長・本部長付・本部長員

石川県エルピーガス協会河北支部

生活協同組合コープいしかわ

石川工業高等専門学校

北 陸 電 気 保 安 協 会

N T T 西日本北陸支店

河北郡市士建協同組合

律 喃 町 赤 十 字 奉 仕 団

蘇 友 也 区 自 主 防 災 ク ラ ブ

同合谷地区自主防災クラブ

英田地区自主防災クラブ

刈安地区自主防災クラブ

等井地区自主防災クラブ

井上地区自主防災クラブ

中条地区自主防災クラブ

津幡中央地区自主防災クラブ

河 北 郡 市 医 師 会

津 幡 町 消 防 団

津 幡 町 消 防 本 部

津 幡 土 木 事 務 所

石川県警察 津幡警察署

町 番 津

平海町

議長挨拶

消防団長 閉会の挨拶